



●4月の巻頭文 『戦場のひまわりは・・・』

浜崎 隆



1970年に、公開された映画ヴェットリオ・デ・シーカ監督、マルチェロ・マストロヤンニ、ソフィア・ローレン主演のひまわり。

ウクライナの大地一面を覆うひまわりをバックに、戦争で引き裂かれた夫婦の愛を描く物語。

今度のウクライナ侵攻で、真っ先にこの映画を思い出した人は多いだろう。

戦場で傷ついたマストロヤンニを介抱、そして結婚するロシア人女性リュドミラ・サバーリエワの、可憐な美しさは忘れ難い。こんな優しさは、今のロシアにもあるのだろうか。

イタリアに残された妻ソフィア・ローレンのもとに数年後、もう一度やり直したいと、夫マストロヤンニが戻ってくるが・・・

戦争はすべてを引き裂く、悲劇に満ち満ちている。

公開から50年余り、ヘンリー・マンシーニの曲が耳に響く。ウクライナから国境に向かう長い人の列！幼い子供を抱き、重い荷物を引いて。プーチンをいさめる政治家も、軍人もいないことがプーチンの暴走の原因では？—

女性宇宙飛行士のワレンチナ・テレシコワさんは、ヤー・チャイカ、ヤー・チャイカ、私は、カモメと、遥か地球を眺めて、連呼しました。

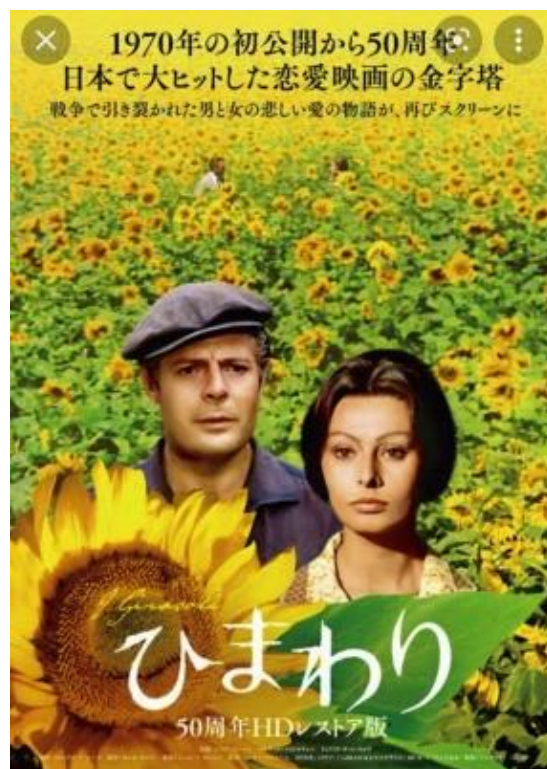
チャイコフスキーの祖父は、姓はチャイカでしたが、ウクライナから憧れのモスクワに移住した時、ロシア風にチャイコフスキーと、改名しました。

宇宙に一番最初に飛んだガガーリンは、地球は、青かったと言いました。

今傷ついた地球は、どんなに見えるのでしょうか。こんな時チャイコフスキーは、どんなメロディを思い浮かべるのでしょうか。

荒廃したウクライナの風景を見る度に、たった一人の暴君の仕業で、こんなにも、世界中の人が苦しむなんて、理不尽な！

一步間違えば、人類の破滅、戦争と平和をつくづく考える毎日です。



4月1日

【関口宏の一番新しい古代史】 BSTBS 4月2日(土) 12:00

▼旧石器時代～縄文時代 人類はどうやって日本列島に?



2年ほど、毎週土曜日にBSTBSで放映されていた『関口宏の近現代史』が終了。その後番組にこの『関口宏のいちばん新しい古代史』が始まります。

このタイトル「一番新しい」というところがみそですね。

わたしたち日本人は、どのような選択を重ね、歴史を刻んできたのか。そしてその選択は、世界の歴史にどのような影響をもたらしたのか。当時の一つ一つの選択に意味があり、令和の日本につながっている。

これまで、人名・年号・事件などの切り取られた単語を、ただ教わるがままに暗記してきた人も少なくないのではないだろうか。

そこで、関口宏が現代の知の巨人たちと共に、日本の歴史に新たな光をあて、縄文から令和までの日本の歩みを、現代につながる視点や最新情報を加えてわかりやすく紐解いていく。かつて知っていた古代史とはガラッと異なる風景が見えてくることになるに違いない。



○ ありがとう。

面白そうですね。早速予約します。

明日は老人会の総会と花見ですが、弁当は各自持ち帰ることにしました。

隈元

○大石さん 4月1日

興味深く 見ることにします。 情報 ありがとうございます。



先般から 申し上げているように 東北大学名誉教授 田中英道先生が 日本古代の歴史の見直し旧石器時代の遺跡が 数多く発見されている。

青森県青森市 三内丸山遺跡の発掘調査が平成四年(1992)から 本格的に開始され、日本各地で旧石器時代の遺跡がたくさん残っているとされています。

日本旧石器学会による2010年の集計では 一万百五十遺跡とされています。

一方、朝鮮半島では 旧石器時代の遺跡は 五十程度にとどまっているといわれ、これは いかにも当時 日本列島に人口が集中していたかを示している。

このあたりを どのように 関口宏の一番新しい古代史 が放映されるか 楽しみです。

録画しました。

木場 祥雄

追伸 私は 古代史を中心に 旧石器時代～ 縄文～奈良時代までを 興味深く 読んだり観たりしています。

高天原という国の神話も 幻想にすぎないとして無視されてきたのを田中英道先生は 実は 縄文・弥生時代の記憶をもとにつくられた現実と密着した話ではないかと私は考えるのです...と言っておられます。

○大石さん

4月2日



BS 関口 宏の一番新しい古代史 旧石器時代 ～ 縄文時代にどうやって日本列島に?

非常に興味深く 見ました。有難うございました。

来週 9日も予約入れました。 縄文時代 約3万年前に...という話ですが もっと



前にアフリカを出発した人類が日本に来たのは 4万年前という話もあり、次回は埴輪の

話も聞けそうで楽しみです。ユダヤ人も日本へ来ていたとか?

木場 祥雄

私たちは何を目撃しているのか？海外の知性に聞く…



一向に進展を見せないロシア  によるウクライナ  侵攻。連日のメディアによる報道に、さすがに申し訳ないけど、観たくなってきました。いけないことと思いつつチャンネルを換える自分がいます。

映像に慣れてしまいハートに感じ方が緩んでいるのを感じます。

こんな番組(今夜は)を見つけました。もしよかったらご覧になりませんか？

双方のこれからの対決をより良く理解出来るのでは？

○

4月2日 pm4:09

大石さん



連絡 ありがとうございます。

ウクライナ侵攻は、民衆、子どもが犠牲になっているので TV,新聞など 取り上げていますが、何が 真相なのか わからなくなってきました。私も見たくありません。

問題は ほんとうに 日本が ウクライナに援助 していったらよろしいのか ちょっと心配になって来ています。

防弾チョッキを 援助したことも これは 自衛隊が使用している迷彩色もの、そのまま 援助したらしい？

ほんとにウクライナ軍だけに使用されるか ロシア軍が日本が積極的に軍備品まで援助していることになれば北方領土を攻められるようなことは起こらないだろうか？ 心配になります。

話し合いのできる相手でないだけに不安です。

近くの北朝鮮、中国 これらの国から攻められることも…、 共産党の委員長あたりは日本は 憲法9条があるから 大丈夫だとか のんきなことを言っておられるが もっと日本の国会、議員さんあたりが 真剣に 対応策を 検討、審議すべき時に至っているのではと思われます。

中国が台湾を攻めてきたら 尖閣諸島を攻めてくる…が現実的になってきそうな気配？

アメリカが 同盟安保条約で どこまで 助けてもらえるか 疑問です。

例え、アメリカに助けてもらえたとしても 日本の自衛隊と一緒に攻撃しなければなりません。

緊急事態に対する法整備など整えて置くべきではないでしょうか！(網掛けは大石)

北方領土、尖閣諸島、竹島問題など これらは アメリカが 日本が再び強力な国にならないように、関係諸国とトラブルを作っておいたという話さえあるようです。

ロシア北方領土四島 侵攻に際し、アメリカ軍が 戦車、武器などを援助したという話さえ、あるようです。

現在、相手国から 攻められないようにするには 核を持つ以外には 対応策なさそうです。

北朝鮮をせめられないのは 核をもっているから、持っていたら攻めてこないと確信しているからで… ウクライナも 1991年に独立した時 約5,000発の核をもっており、

ロシアに渡してしまった。これが渡していなければ 攻められるようなことはなかった。

技術は すごいものを持っており、軍艦も中国へ売却し、中国の遼寧という航空母艦もこれが 基礎になっているという話もある。

木場 祥雄



○4月2日 pm5



大鵬はウクライナ人だったそうです。

ルロイ・マーリン（DIYディスカウントストア）は、戦争勃発後、ウクライナの6店舗を閉鎖し、従業員に3ヵ月分の給料を支給した。

そのお金は、従業員とその家族が、安全を求めて、ポーランドやルーマニアへ国境を越えて



行く助けになった。

ゼレンスキー大統領は、ルロイ・マーリンのロシアでの営業を止めるように訴えたが、ロシアで112店舗を運営する社に撤退の気配はない。

3月21日、キーウ（キエフ）で最大のショッピング・モールの1つは、ロシアのロケット攻撃によって跡形もなくなった灰燼と帰した。

3月31日、ベルギー連邦議会で、ウクライナ大統領ウォロディミル・ゼレンスキーが、飛行禁止空域の設定とEUの支援を求める演説をビデオ・リンクで行った。その前に、バイオリニストが議場で議員を前にウクライナ国歌を演奏した。

○4月2日pm22時15分

木場さん



北方領土、尖閣諸島、竹島の問題は、仰る通りだと思います

日本が近隣諸国と仲良くなれないように置いた布石でしょう。

「核を持つ以外に....」を日本も考えていますというアピールは必要でしょう。日本で、北朝鮮のICBMのニュースを大々的に取り上げられているのを見て発射の効果があつたと喜び、日本は怯えていると宣伝していることでしょう。

「調査して、報告するように指示した」「精査をする」「再発防止」「第三者委員会」デジタル庁で、デジタル化するデータは果たして正確かどうか？

今、4回目のワクチン接種が論じられるようになっているが町医者は、3回目でも割り当てのワクチンが不足していると言っているその原因は在庫管理、配布計画の稚拙さによるものでトータルでは足りているかもしれない。それにしても、世界に30種類ものワクチンがあるとされているときなぜ日本は開発できないのか？開発させないのか？

厚生省の職員の半数が正規職員でないとも聞くが、本当か？
国土防衛の基盤は、まず、しっかりした国家経営であろう。

いつものことながら、一事が万事で、話があちらこちらに飛んでしまいます。
みなさまの生存確認のため、何か書き込みをお願いします。

=====

西山 和宏

=====

○2022/4/3

大石様 西山様、木場様屋ほかの皆様へ



NHK の ETB の特集、「世界の知性に問う！ ウクライナ危機の深層」に関しての事ですが、このテレビを垣間見ながらの感想を述べます。

西山さんや、木場さんが主張されておられることも一理あると思いますが、自分の今回のウクライナ紛争についての「立場や思い」は、やはり、一般的に政治的に指摘されている「核を持つ事が、戦争の抑止力になるのだ！」という事が世界の常識になりつつあることは、大変な「間違い」であるという感慨です。

つまり、ロシア(プーチンの独善かもしれないが)が、核を保有していることを「公言」し、その「威力」で、アメリカや NATOなどが、武器の提供はウクライナ国にはするが、参戦することは、核を含む世界大戦になるから参戦させない、それが、ロシア【プーチン】の狙い処であるとの「世界の常識」になりつつあることに、むしろ、警鐘を鳴らしたいです。

昨夜のETB特集でもある識者が言っていました、世界には13,000を超える核兵器が製造されている。この現実を放置してきたには、アメリカやロシアだけではない。各国の「自国の防衛上」という安易な自己本位の「核の抑止力」の「魔法に就かれて」言って来た「重い責任」がある。

そのことを反省もなしに、未だに「核を持たないと……」という議論にすり替えて、結果として、安倍元総理が言うような「日本も……」という事態となっているが、これこそ、危険な言葉である。

世界を「核まみれ」にする意図とも受けとめられるであろう。

即ち、このような考え方が世界に横行することで、核兵器製造・保有の国々がいかに増加するかを考え、突き詰めると「危険な地球規模の戦争を惹起する原因」ともなるであろう。

そのことによって、いずれ、地球規模の世界戦争に発展し、結果は人間社会の「終末を迎える事態」になるであろう。

あくまで、このウクライナとロシアの一国同士の戦争をやめさせなければならない義務が各国に要求されている。その方策は、ロシア(プーチン一派)に対して、世界の各国があくまで外交交渉を通じて、粘り強く、「このまま、ウクライナを自国の干渉国、属国化にすることは不可能である」ことを、悟らせることが唯一の解決策であろう。

過去の幾多の独立戦争の結果も、「自国民の意識がその国の歴史をつくるのだ」との「歴史の必然」を訴えるべきであると思う。ロシアの嘗ての自国であった国を、自己の陣営に留まらせようとする今回の「ウクライナへの侵攻」は、覇権主義の最たる証拠であり、自国【ロシア】の勝手な「横暴」であることに、気付くべきであろう。

ロシア(プーチン一派)だって、核を使用する世界戦争に発展すれば、自国の維持もできないことに、意を用いるべきである。

日本の今後はどうか？！ 木場さんも西山さんも、日本をとりまく、今の問題点の北方領土、尖閣諸島、東南アジア海の資源エネルギー、南北朝鮮半島情勢、などを指摘されておられ、その際の対外国政策、あるいは自国防衛策についても、「核」を含めて、再検討すべきとの論旨も見られましたが、どうでしょうか？！自分の立場としては、この考え方は、とりません。

結論から言えば、まずは、我が国は「唯一の被爆国である」ことで、この地球を破滅させるほどの「核戦争」を断じて阻止しなければならない立場にあると思います。

今まで、このことは、アメリカとの日米安保条約の「傘の下」にある限り、自民党主体の政府は、何も考えずらしなかったことであるだろう。

そのこととは、大胆な発想実現が困難であることは承知しているし、世界に認知されることは長くかかることであろうが、日本は「永世中立国」を宣言し、もちろん「核の保有」などは今後もしないことに徹するべきであると思う。

永世中立国としては今は、スイス、オーストリア、トルクメスタンの3ヶ国がある。永世中立国として認められるのは、スイスは1805年のウィーン会議、オーストリアは周辺諸国への交換公文書の取り交わし、トルクメスタンは1995年の国連総会で、それぞれ承認されている。

すなわち、永世中立国は、いくら自国だけで「宣言」しただけでは、世界に認められない。 周辺諸国を含めて、今からはおそらく「国連総会での議決」がその要件となろう。

その永世中立国を目指すには、まずは、自国を防衛する軍備と国民皆兵システムの構築が最初で、もちろん各国との戦争への加担などは一切禁止であり、すべての事案について、他国を威嚇・攻撃などはできないし、いわゆる各国家との同盟や組織にも加わらないことが最低限要求される。

スイスなどは、昔から、国民の義務として男子の兵営を課しており、国民もすべての家にはシェルター設置が要求されているほど、いざという時の対処法も構築されており、国民意識も、自国を防衛する意識の点では、他国よりの強固なものがあると思える。

日本の場合、もちろんアメリカなどとの日米安全保障条約などは、今後は解消させなければならないし、その代わりに自国防衛については、今の自衛隊組織の一層の充実と国民からの関与も要求されるだろう。

自分は、学生時代からの法学徒の一人として、平和憲法はどんなことがあっても維持されなければならないとの「護憲派の一人」である。自衛のための「戦力」は保持しなければならないが、この「中立国」としての「理想」は捨てがたいと認識している。

一見、実現不可能な要件がありすぎるが、このままでは、世界諸国の核武装の蔓延と日本の核保有化への提言が「常識化」される恐れがある。

世界での唯一の被爆国である日本が、今からでも率先して、この世界の中で核が無限大に製造され、いずれ地球規模の戦争が起きることで、地球の破滅への道を辿ることによいのか？を、今の核を持たない日本だけが「世界に向かって主張できる」良い機会であると思う。

このロシアのウクライナ侵攻「戦争」を機会に、日本が主体的にこの戦いをロシアにやめさせるには、この日本政府の大胆な国防に対する「主張」を大きく変換するぐらいの日本の「独自性」を発揮すべき時に来ていると思われる。（網掛け…大石）

勿論、今までの日米安保条約や西欧諸国、ないしは資本主義社会で生きてきた日本であり、今の自民・公明党内閣ではこのような大胆な国としての「変換」などはすぐにはできないことも理解できるが、それをいいことに、日本が何時までもアメリカ追従の「国策」をとっていくことでの、安易な「施策」に拘泥しては、他国から見れば、アメリカをはじめとする西欧諸国の「伴走車」でしか、評価されないだろう。

このような大胆な国策の変換などを主張する「世論」をまずは、日本国内で醸成させる必要があると思う。これには、多くの国民の世論の喚起が必要であり、今の発達したFMSなどの機関を通じて、若い人をはじめとする国民の中での「世論形成」を促進する「第一歩」になれば、幸いである。

以上、雑駁ではあるが、今回の「ロシアのウクライナ侵攻」についての、自分の「想い」を不躰ながら書いた次第です。飛び越えた「発言」で恐縮です。皆さんの「批判」を受け入れます。 本田 哲郎。

2022年4月3日(日) pm11:00 大石慶二 <kjoishi3@gmail.com>:



4月2日のNHKEテレ11:00放映の **ウクライナ侵攻(トピックス)**

【私たちは何を目撃しているのか？海外の知性に聞く・・・】の翌日、3名の八期仲間から早々にコメントを寄せられました。私も、もちろん観ていました。

3名の知識人の「ロシアのウクライナ侵攻」に対するそれぞれの意見に聞き入りました。そして、納得することがたくさんありました。

最初に登場された(オンラインインタビュー)ノーベル賞作家のアレクシエービッチさんの冒頭の言葉にハッとしました。「ふつうのひと(市民)が戦争を始めるのではありません。始めるのは政治家です」

ごくありふれた当たり前の発言でしたが、わたしの胸になぜか？ドスン！と響きました。

「書き言葉」にすると何の変哲もないセンテンスなのに、画面を通してアレクシエビッチ女史の口から発せられたコトバはとても意味深く、受け止められました。このコトバの解釈は万人それぞれ受け止め方は違うと思います。

「政治家(たち)が戦争を始める」それもごく一部政治家が。究極には今回の『ウクライナ侵攻』の場合、その断を下した、たつた一人の狂人一情の心を持っていないという意味で—「プーチン大統領」です。

一国のトップに狂人を戴いた場合の悲惨な記憶を、幸か不幸か、私たちの世代は、はっきりした自己体験として持っています。その最後の世代と言っているいいでしょう。それだけに今回のウクライナ侵攻は遠くの国の争いではないのでしょうか。木場さんの文章からはそのことがよく読み取れます。「古代史を調べてるところじゃない」そんな文章でしたね。

私は、今回お勧めしたテレビ番組はたいして深い意味があって紹介したわけではありませんでした。

朝、昼、晩のワイドニュースで連日のように登場する時事解説者のニュース解説に、そろそろ辟易していた時の番組内容でしたので、戦術(日々の戦況)より戦略的視野から今回の東欧における悲惨な戦争を観てみたい・・・そんな気持ちでのお勧め番組に過ぎませんでした。

まえがきが長くなってしまいました。実はここに「4月の『八期オンライン通信』」に載せるのを切り取って、トピックス版にしてまとめてみたいと思ったのは、今回の『ロシアのウクライナ侵攻』をわが日本国の現在置かれている状況つまり、核を保有する危険な3つの全体主義国家(ロシア・北朝鮮・中国)と国境線を対峙しているわが日本の危うさを感じる時、「今何を為すべきか？」警鐘を鳴らすと共に、それぞれの自分の案を述べてくれました。

それこそ、『オンライン座談会』でも出来ればもっと活発な意見交換が出来るのかも知れませんが、今回は通信でまとめてみました。

○4月3日午後11時38分

本田さんへ

詳細な説明読ませていただきました



結論的に言えば、いろいろなことに対して備えと覚悟が必要だということです。
願いや希望に反したことは起こるものです。
想定していなかったことも起こります。
不測の事態に備えることは必要です。

万全の対策が必要です。

ご指摘の永世中立3か国、それらの人口は東京都の人口よりも少ないものです。
地政学的には日本は太平洋への出入りに要衝の地にあります。

人類の歴史は、部族・一族が繁栄し人数が増えると、食物確保のために隣接地を侵します。
何らかの事情で、食物が不足すると、持てる者から奪いに行きます。
パンダは笹を食べ、コアラはユーカリを食べるのは食物の奪い合いを避けるためだそうです。
植物も優勢な物が劣勢な物を凌駕し、枯れさせ滅ぼしてしまいます。

生きとし生けるもの、種の保存と繁栄のために生存競争を強いられています。
これはいいとか悪いとかの問題ではありません。
これが現実問題です。

1999年12月30日、首相時代のプーチンが発表した論文「千年紀の狭間におけるロシア」には、
ソ連崩壊によって三流国に成り下がったが、ロシアを決してそれに甘んじる国ではない。
ロシア人はそれに甘んじない人たちであり、自分の使命はロシアの真の力を回復することにある
と述べているそうです。

「文藝春秋4月号掲載「プーチンの野望」東郷和彦と畔蒜退助の対談」より引用。

ソ連崩壊後の30年間、アメリカは主導してNATO体制を拡張しました。

1990年2月、ドイツの統一交渉で、米独の枢要な交渉者は、ドイツ統一をソ連が是認するなら
「1インチ」もNATOを拡大しないと口頭ではあるが約束してあったそうです。

1991年7月、当時の大統領ゴルバチョフは、NATOに対抗する軍事同盟・ワルシャワ条約機構を自ら解体した。

これによって、NATOに解体するであろうとロシアは見ていたが、その認識は甘く、NATOは」拡大しました。

プーチンにはプーチンの言い分もあるということです。
といっても、プーチンを擁護するものではありません。
絶対善とか絶対悪というものはないのかもしれませんが。

=====
西山 和宏
=====



○ロシアのウクライナ侵攻

私の驚きは、ロシアのGDPが韓国とほぼ同じということです。
それであれだけのことをやってのける。

フランスのマクロン大統領は、3月24日、ロシアに留まるか引き上げるかは個々の企業経営者が自由に決めるべきだと記者会見で述べた。

ロシアは、中国と対立するインドと仲良くしたい。

常に、自国の利害をよく考えて行動すべきである。=====西山 和宏

○大石コメント

今朝のニュースから (南日本新聞)



今朝の新聞から(大石) 木場さんの「コメント」の深掘り? 田中均氏の意見に注目しています。北方領土問題にも北朝鮮にも詳しい人。

高岡筋は市内はどこ?とありますか?

興味ある方は返信しますよ。

○田中均さん 仰っていることは、当たらず触らずの模範的なものであろう。

それともコメントをまとめた記者のせいかしら。

「日米欧の戦略的パートナーシップの強化が必須になる」と、サラリと述べておられるようだが

何々に関する「戦略的パートナーシップ」と言わなければ意味がない。

いかにも田中均さんらしい、ご発言でしょう。

拉致家族問題を解決できない状態をいつまで放置するのか?

西山 和宏

○4月4日 大石さん



いろいろ 古代歴史問題から 現実 昨今の世界の動き 私にとっては 読むのも大変です。

本田さんの「永世中立国」の提案に対し、意見の述べようと 考えている矢先 田中 均さんの

”安保戦略を問う”情報連絡 これに対しても すぐに 西山さんから この方へ 拉致問題解決?はと 投げかけておられます。

小泉訪朝団に加わり 数人を帰国させた時の お役所側の代表者であったと記憶しています。

その後の進展はその後 安倍首相に変わり、さらなる拉致家族帰国 期待しましたが ほとんど進展なし、この方は

新日本新聞

安保戦略を問う

核・ミサイル開発を進める北朝鮮の脅威は増し、国力を伸ばしている中国は台湾問題を巡ってリスクが高くなっている。ウクライナに侵攻したロシアもいる。防衛力強化も必要だが、同時に、日本は安全保障環境を良くするための外交努力を倍加する必要がある。けん制や抑止力だけを高めるのは危険で、正しいことではない。岸田政権には、外交の力で東アジアの安定を達成するという概念を戦略文書に盛り込んでほしい。

日本総研国際戦略研究所理事長

田中 均氏

外交努力で環境改善を

「敵基地攻撃能力」を巡る防衛システムが機能しないか政府の説明は不十分だ。北朝鮮が相手だと言うが、中国やロシアも脅威になり得る。敵ロシアを打撃するミサイルはこの国をターゲットにするのか説明する必要がある。日本が長年構築してきたミサイル

「敵基地攻撃能力」を巡る防衛システムが機能しないか政府の説明は不十分だ。北朝鮮が相手だと言うが、中国やロシアも脅威になり得る。敵ロシアを打撃するミサイルはこの国をターゲットにするのか説明する必要がある。日本が長年構築してきたミサイル

の専守防衛を変えることには。歯止めなき軍拡が安保環境の改善につながることは到底思えない。

日米安保条約の信頼性向上こそが最大の防衛だ。「核共有」政策が自民党で議論されていたが、唯一の被爆国である日本が核使用のボタンを持つ

の役割分担の範囲内で日本ができることは多い。

日本は、アジア太平洋経済協力会議(APEC)、東アジアサミットの枠組みを主導し、安保環境の改善に取り組んできた。米国にはできない外交に取り組み独自の役割がある。アジア諸国との関係を強化する外交が重要となる。

ロシアのウクライナ侵攻は力による現状変更であり、現代的価値観とは全く相いれない。ただ米国の指導力は相対的に弱まっている。ロシアの侵攻を止められなかった。日米欧の戦略的パートナーシップの強化が必須になる。ロシアが核戦力に加え、世界第2位の論核戦力を持つ中国と戦略的な

政府は外交・安全保障の長期指針「国家安全保障戦略」をはじめ、防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画(中期防)を年末に改定する。ロシアがウクライナに侵攻する一方、東アジアの安保環境も激変している。日本の戦略は今後、どうあるべきか。「敵基地攻撃能力」保有の是非などの論点を、専門家と岸信夫防衛相

たなか・ひとし 1947年生まれ。京大卒。外務省アジア大洋州局長、外務審議官を経て2010年から日本総研国際戦略研究所理事長。

この方は 安倍首相と合わず?、この問題から 遠ざけられたように思っております。

(この件 私の思い違いであれば お許してください。)

話は変わりますが 書いておられるように ロシアが ウクライナに侵攻する一方、東アジアの安保環境は激変している。

日本の戦略はどうあるべきか…非常に 難しい場面と思われるが今朝の朝日新聞によると G7 主要七か国 会議で 欧米と協調体制を深め、ロシアプーチン氏の制裁を強めて行こうという雰囲気の中にあり、外務省あたりは慎重論も出ているらしい…と記事が載っていた。

ロシアから非友好的・地域の対象国となり、北方領土問題、サハリン石油投資問題など含め 撤退やむなしという方向に舵を切る、安倍前首相にも岸田首相が話したとのこと。ロシアは 石油をインドに買ってもらうよう働きかけ、中国も 欧州諸国の動きを意識しながら 様子うかがっている感じ。

あまり追い詰めると、いつ、ロシア→中国が手を組むかが 気になる。

日本は すこし 引き下がった状態で 仲を取り持つようなことは出来ないか…

もう遅いか 中国など近隣諸国との侵攻うけた時には 今回のウクライナのようにアメリカだけでなく、欧州、オーストラリアなどの諸国を巻き込んで 対応を図ることも重要であるなど…問題山積となります。

私共 ど素人には 難しすぎる課題であります。

今のへんで おしまい!

木場 祥雄

○本田さん 4月4日23時09分



意見メール 拝読しました。

日本を「永世中立国」にするということに関し、よく事情を分かって上でのことと思いますが、問題は どれぐらいの時間、年間ベース 要することだろうという事が 課題です。

私が 非常に困難である点を箇条書きしたいと思います。

① まず、アメリカとの関係 戦後 アメリカの傘下 極端な言い方をすれば、アメリカの51番目の州みたいなものです。

将来は使い捨てされるかもしれませんが 当分 離さないでしょう。

戦後 今まで アメリカの言い分もよく聞いてきました。

② 日米安保条約を解約するという事は 今の時点では 得策でないように思います。当分、傘の下にいる。

③ 「国連総会での決議」が必要であるようですが、周辺国が賛成票を投じてくれるか…疑問です。

ロシア、中国、韓国、北朝鮮等の国

④ 中国やロシアにとっては 太平洋に進出するために絶好の位置にあるので喉から手が出るほど欲しい。

また、逆に アメリカにとっては 潜在敵国である中口を封じ込める絶好の地形である、これで 中立を維持することは不可能です。

⑤ 食べ物自給自足率が 非常に低いです。これも 高めていかなければなりません。

⑥ 資源がないため、加工貿易で 外貨を稼いできました。前の太平洋戦争は 資源獲得が 封じ込められたために戦争を始めたと言われています。永世中立国は できるだけ 自立できるような体制を築かねばなりません。

⑦

「どの国とも軍事協力をしません。」であり「自国は自分達だけで守ります。」という事です。
ここで、憲法改正し、国民皆兵、徴兵制度を制定する。もちろん、兵器も作る。軍備に莫大な予算 現在 GDP1%ですが
2% 10兆は必要になろう、当然ながら 消費税の増税 20%の時代が来るのではないか？
スイスは 国の平和を命がけで守るといふ、小学、中学から 民間防衛を教えている。
「永世中立国」になるには…という事で すこし、調べたりしましたが まあ たいへんなことです。まず、アメリカとの関
係解消が実現できるかどうか 私は 非常に 疑問に感じています。
昨今、岸田首相が 7G(七か国会議)の席で 欧米連携強化のため
ロシアに対し、さらなることも考慮中、北方領土問題解消、サハリン石油凍結？(これらは流動的？)
最後に 日本は 核兵器禁止条約に署名しておらず。86ヶ国署名、60ヶ国が批准している状況にありますね。
独自性を発揮すべき 時ではないかと思いますが、
日本としてどうすべきか どうか アメリカにあわしているのでしょうか。
まあ いろいろと述べましたが 一つ一つ解決していかねばならぬ 私意見としては結論からすれば難しいと思います。



○西山くんが 3 年 5 組 と言う 根拠は 修学旅行の
写真を持っていた。よその組の写真何か持っている事
無いでしょう！

崎元くんは 自分の用の時はガンガン電話かけてくる昨年の 中村 隆重 氏の
本が出たと言う時は 著者の住所まで教えて買えと言うまあ皆様 友人思いです事
だから 八期会は成り立っているのでしょう \ (^_^) /

貴方の みなみちゃんの寄付の記事が出た時…

すぐに みなみちゃんあっち・こっちに寄付して頑張っていますね 皆々様 喜んでおられますよ！
成績もあげて じい様も喜ばせてあげてね👍 と打ちたかったけど やっばりまずいかと止めといた！ そしたら
和枝ちゃんが 打って来た。

この前 龍作くんが どうしているかと メールしたら…

ありがとう残念だが仕方ない 涙だなみだ
また 試合だと思うからプレッシャーがかかるので無いの？ 貴方と遊びの

ゴルフ🏌️してみたらとか打ってみたら… 浜松の駅舎の写真メール📷🇯🇵に

浜松よまたきますさようなら と 返信が来たのよ

どういう事なのか？

どうしたら良いか？ わからないしね市来くんが気の毒で まあ勝負は 勝つたり負けたり はつきものだけど でしょうけ
どね

スランプなら 早く抜け出してください。祈ってます m(_)_m



崎元氏は確かにそんなところがあります。割と一方通行…

特に中村隆重ファンです。熱烈に🔥ぼくは感心しています。

善之助くんがマーコから来た LINE の文章が？どうもわからない…何やら煙突かどうとか？

ぼくに言ってもわからない…と言っておきました。重大な案件でもなければそのままいいのでは…と言
っておきました。

みなみちゃんのごことは別に龍作本人もさほど気にしてないのでは？悪い時は周りはほっとくのがいちばん…そう思います。でも気にして何か言ってあげても彼は喜びこそしても迷惑がる男ではないです。

re:ウクライナ侵攻

本田哲郎 4月6日(水)4時50分



木場さん、西山さん、コメントありがとう！！

木場さんが、小生の願望とも言える「永世中立国」への無なとも思える「提言」に対して、「困難である」と述べておられます。

自分も、今の政権政府がこのようなことに「耳を貸さない、または、無視される」のは、「当たり前」と思っています。

ただ、暴論かもしれませんが、今のこの「ウクライナへのロシアの侵攻」についての戦闘状況から生じている「核保有国絶対論」とも言える「核を持つことでの戦争抑止力」(ロシアが核を保持していることを敢てこの時期に「宣言」することで、米英やNATOからの参戦を阻止している事)が、世界の各国への核保有を促進していることになっていきますね？！

この風潮が今まで核を保有していない国々に対しても、この考えが蔓延する「虞れ」もあります。わが国でも、安倍前総理なども、既に、「核保有」に積極的な発言をしています。

日本のような日米安保条約で、「アメリカの傘の下」であることで、核保有はしていないが、「戦争から逃れている」という錯覚を覚えている日本の今の現状では、日本は各国からはアメリカの属国としか、見られないででしょう。

このような現状では、日本でも「核保有」の議論が、俎上する虞れがあります。

これを打破するには、日本として、「世界に冠たる平和憲法を堅持している唯一の被爆国である事を生かしての、思い切った国索を講じるべきである、宣言すべきである」との考えから、すぐには、勿論実現不可能かもしれないが、何回かの総選挙を通して政権政党が変われば、この「永世中立国」への道程への道も開けてくると思われれます。

アメリカだって、日本の今後について、政権政党が変われば、やはり、すべてをアメリカのいうままには、ゆかないことも自覚するでしょう。

困難ですが、どこの同盟にも加わらない事にしないと永世中立は宣言すらもできません。

その際は、日米同盟の解消提議はもちろん、東南アジア機構からの脱却なども行うことで、むしろ、ロシア、中国、韓国、北朝鮮などは、日本のこの行動に賛意を表すのではありませんか？ アメリカから離れることで、

国連決議は、多数決で決まるでしょうから、ここではあまり問題点はなさそうです。

食料自給の原則はなるほどとは思いますが、兼ねてから日本が経済的な輸出入に関して、関係国と有効な貿易面での「最恵国待遇協定」を締結しながら、関係各国と有効な関係があれば、現在、自給率が30%強であることも、自給率を上げないと何もいけないという事ではないと思われれます。

貿易は互惠関係にあり、貿易対象国としても、日本からの経済援助【製品を提供している】もあることで、孤立する虞れはないでしょう。貿易相手国も、「日本を頼っている」という事になります。

第2次世界大戦の勃発の歴史では、なるほど「資源」がその原因となったでしょうが、近代国家として、経済的にもGNPなどにしても、世界有数の工業化が振興されて、今や先進国としての技術や開発力が旺盛であることで、世界に

対しても、当時とは全然異なる「位置を占めている日本」であり、「資源」がないからという「理由」は当てはまらないと思われま

す。軍事力のことですが、現在の日本の防衛費も世界では 10 番以内に入るほどの防衛費予算額となっています。スイスのように国民皆兵という事になりますが、その際は、やはり「憲法改定」は必要でしょう。自分は法学徒でしたが、大学 3 年次からは「憲法ゼミ」に入り、卒論も「第 9 条」を扱いました。それなりに、中立国となれば、「平和憲法」を維持しながら、「自営のための戦力」は持つべきとも思っています。

以上のようなことで、決して今すぐに簡単に「中立国」になれるわけでもないことは、重々承知しています。

今後の日本の国策を考えれば、現時点での「核保有」などを安易な「戦争抑止力」と見做す方向性をなんとしても、留まらせる施策として、世界にをリードする立場に日本がなれるには、今まで戦後長くアメリカに追従してきた「国策」では、「世界に認められたリード・オブマン」にはなれないことで、この「中立国」という考え方も出てくると思えます。

この永世中立国への道程は、困難で、長い年月がかかるでしょうが、今のままでは、何時まで経っても、岸田総理の口癖ではないですが、「関係各国と連携しながら、積極的に対応します」との「空虚な言葉」しか聞かれない日本の「施策」内容です。

従来の日本の常識(選挙における利益誘導による政権政党の勝利 9 というようなことが、全国的な意識改革がなされない限り、政権政党の変革もできないことで、この施策も出てこないでしょう。今の野党でもこの「永世中立論」を言う政党ありませんが、今回のウクライナ侵攻に合わせての、「核の保持論」が横行する気配があり、思い切って、「発言」した次第です。 2022, 4, 6, 本田 哲郎



ウクライナ侵攻…わが意見！

4月6日 南郷善之助

〇こんばんは～今まで(g)メールを読み返していましたが本田さん木場君西山君の書いている文書を観ながらこの3人で討論会をさせたらそれぞれの個性豊かな方々なのできっと白熱した(?)意見交換が出来るでしょう(ね)本田さんの意見は理想的かもしれないけど今の我が国では中国や北朝鮮に囲まれている状態では絶対に不可能だと思

う。現実的には西山君の考えに僕はそのとうりだと思っている。

今回の記事でハッキリしたことはいまの国連では何も決める事が出来ない

戦後 75 年経っているのに今だに戦勝国が国連の常任理事国で拒否権を行使しているけどこんな状態では何時までたつても変わら無いので解体して新しく作り直せばと思っているけどね(?) おはよー(おはよう)昨夜に続いて人類創世以来戦争は続いていますしこれから将来にかけても戦争の形は変わっても人類が生存している間は永遠に続くでしょう。

今こそ戦争をどうしたら無くせるか

人類は真剣に考える時期に来ていると思っているけどね(?)ナカナカ難しい問題だと思

う。それぞれの国同士が国益重視ばかりを主張する事ばかりでは何時まで経っても変わらない。

だからと言って一国だけで自分の国を守る事は今回の戦争を見ていたら良く分かる、

今こそ戦争を止める方法を考えるべきで経済制裁も一つの手段かもしれないかもしれないけど(?)一時的な方々でしかないと思

う、一国だけで侵略者と戦うのは絶対無理だと世界中の人々がわかつたはずだけど(?)そうすると集団で侵略者と戦う事しかふさげそうにありません(ね)

一国で戦える国は米国と中国とロシアやぐらい(で)他の国は集団で戦える体制を作らない限り滅ばされる。

集団で戦える体制を作る事によって軍事費も全体(で)出しあうような方法を考える事によって負担も軽く済むかもしれない。

核の脅しに屈していたら何時までたつても何も出来ないの脅した方も必ず殺られる事を知らせるべきだけ(?)こればかりは、独裁者がどう考えるか分からない(わからない)

外交交渉で戦争を止める事しか今は出来ないの他に良い方法がないか、考えるべき時期に来ていると思う。

日本の憲法は戦争放棄と明記しているが世界中の国が戦争放棄を憲法に明記してくれれば(?)もしかして戦争を止められるかもしれないけどね(?)

今の所日本以外世界中でそんな国等探しても一つもないのが現状です。

改めて今まで書いたのを読み返した所やはり自分が何を言わんとしているか考えを正確に伝えきれない文書になっているので小説家にはなれないことが良く分かりました。



【戦争犯罪と歴史に刻まれるプーチンの無謀な侵略と虐殺】

松富かおり

2022・4・8

キーウ近郊のブジェから、多くのウクライナ民間人の遺体が400体以上発見された。
さらに、近くの町ボロジャンカでも。

彼らは拷問され、殺され、遺体には、地雷までつけられていると報道されている。

こんなひどいことが許されるのだろうか？

プーチンにとって、ウクライナ人は「人」ではない。

おそらく、ロシア兵すら「人」ではなく、使い捨てのコマに過ぎないのだろう。

「焦りと狂気に支配された王」に、侵略される国民も、統治される国民も本当に不幸だ。

こんな悲惨な状況はどうしたら、一刻も早く止めることができるのだろうか？

実は、先々週、膨大な額の海外からの資金が中国から流出した。

ロシアのように強権政治を敷いている国では、いつ、「戦争」という国民すら望まない道を指導者が自己の利益のために選んでしまうかわからない。

そのリスクを回避するためだ。

そんなこと、今頃気づくのか？という気もするが、これは、中国にとっては大きなショックとなった。

上海のコロナ感染爆発と同時の打撃でもある。

現在のロシアへの制裁は、経済的にじわじわと首を絞めるようにプーチン政権にきいてくるだろう。

ロシアにとって、現金を得る手段はほとんど原油とガスの貿易しか無いのに、その道を断たれようとしているからだ。

今後、一日2兆円ともいわれる戦費をどう賄うのか？

通過ルーブルは下落し、国内のインフレは加速度的に悪化している。



情報統制により、実情を知らされない現在、驚くべきことにロシア国民の約80%がプーチン支持と、独立系のメディアすら伝えたが、それがいつまで続くものかは疑問だ。

パンの値段が上がリ、禁輸により部品が入ってこない自動車などの製造も滞っている。
 そして、一万数千人の兵士の遺体が家に返されたとき、その支持率が續くとはいえ、とても思えない。
 キーフ近郊で発見された遺体を見た国際社会の制裁は、さらに厳しくなる。民間人を意図的に殺害するのは戦争
 犯罪で、その規模は許される範囲を超えている。
 EUは石炭の輸入を禁止する。

オリガルヒの海外の資金凍結もさらに進むだろ
 う。

オリガルヒは、海外にある資産の凍結だけでなく、これまで享受していた贅沢品を手に入れるこ
 とも難しくなるだろう。

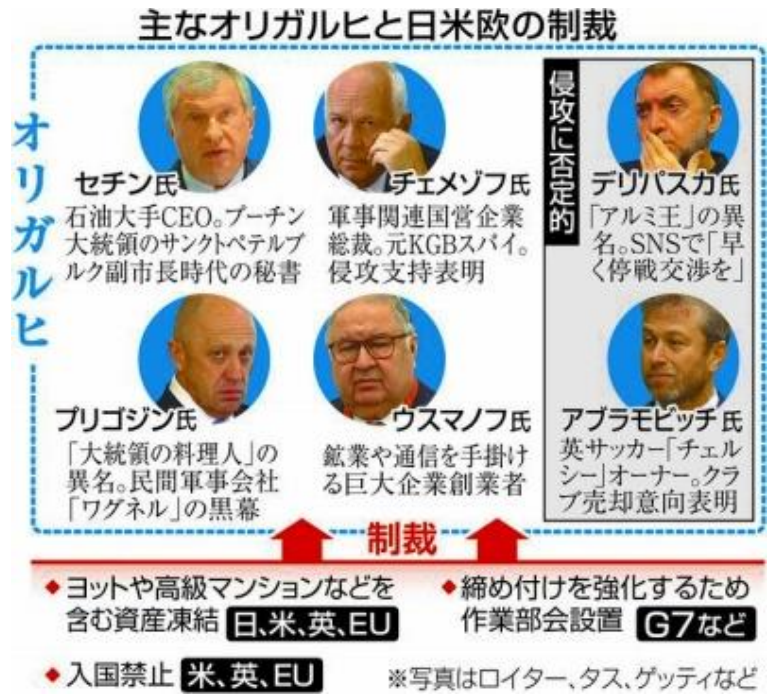
それでも、プーチン政権を支持し続けるのか？
 今回の侵攻は、およそ、これまでのプーチンらし
 くない。

誤算に次ぐ、誤算。

戦略は迷走を続ける。

物資の補給も滞り、準備不足が目に見える。

プーチンの体調不良説(甲状腺癌など)がまこと
 しやかに囁かれる中、「焦りに駆られた裸の王
 様」が生む悲劇は止められないのだろうか？



現在までの西側の結束は、ロシアを苦しめている。

ウクライナへの武器援助だけでも異例のものだ。

アメリカはじめ様々な国のドローンが提供され、地上部隊を攻撃している。

スロバキアは、地对空防衛システム S-300の供与を行なう。

衛星などを使った情報の供与もなされているようだ。

イギリスのジョンソン首相は対艦ミサイルの供与を約束した。

且つ、ロシアの銀行の大半を国際的決済組織 SWIFT から締め出した事で、今や、ロシアは経済的に世界から孤立しつつある。

このことは、習近平の心を相当に寒から占めていることだろう。



中国は、ロシア以上に、世界経済から切り離されてはたち行かない国なのだから。

これだけでも、中国にとっては厳しい教訓になったはずだ。

残るは、核や生物・化学兵器が使われた際に、いかに国際社会が結束し、壊滅的な制裁をロシアに課せるかが、正念場だと考える。

万一、核のボタンが押されたら、NATO や西側諸国はきちりと対応できるのか？

これに失敗すれば、今後、北朝鮮や中国が核を使うハードルを低めることになりかねない。

そんな最悪の事態だけは避けなければならない。なんとしても、「狂気に駆られた王」が核のボタンを押すのは阻止しなければならないのだ。

そのための抑止力に、何がなりうるのか？

それには、西側各国のかなりの痛みを覚悟して、全ての一次産品、特にヨーロッパが輸入しているガスの輸出を禁ずることができるのかが大きな鍵になりそうだ。

財政的に、ギリギリまで追い込む事で、ロシア国内での世論を動かし、プーチンを翻意させられるか、あるいはロシア国民の意思によって彼を大統領職から引き摺り下ろすことができるのか？

核などの大量破壊兵器を使用した場合に課される国際社会からの制裁、それは、世界中に散らばる、専横的な国家が、これ以上の愚を犯さないためにも「一罰百戒」となるものでなければならない。

ウクライナの危機は、対岸の火事ではない。

武力を使って国境線を変えようとする国はアジアにも存在する。

中国は、世界の耳目がロシアとウクライナに集中しているすきに、南太平洋の島々との関係を強化するなど、着々と勢力拡大を図っている。

ウクライナの苦境が良い形でできるだけ早く収束することと同時に、今回の危機で試されつつある、自由と各国の主権を重んじる国々の結末が、アジアにも良い影響を与えることになることを切に願う。

世界には困難や悲惨な状況が満ち満ちている。

道端に咲く街道ざくら。

母が好きだったこの花を愛でる余裕のある日本での生活が、いかに貴重なものであるかを噛み締める。




--

新作情報

〇この時節ですがお知らせ致します！

5月16日(月)pm8:00~9:54

機捜 235Ⅲ] 地上波テレ東です。お手数おかけ致しますが、皆様方にお伝え下さいませ!!

鶴田忍 拜 



鶴田さんよりメールが
来ました！ 先日今年も
撮した見たいにおっしゃるので 知らせる方もあり 必ずお知らせくださいと
頼んでおきました (*^^*)



貴方もいろいろな役職やら

指名のお仕事やら お忙しいですね！ お車やら 新顔

コロナにも お気をつけくださいねいつまでも… 撤退してくれそうにも無く

ウクライナもコロナも心にのし掛かっています。

いつになったら 鹿児島までやら 旅行に自由に行けるものやらですね 🙏

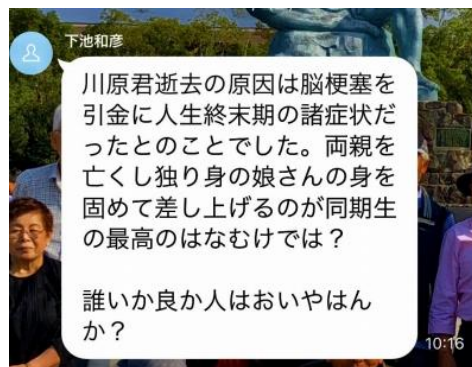
昨夜 テレビ  見てたらテレビ東京で タクシー  の運転手さんに 貴方が一番美味しいと思う店に連れて行って下さい と言うのやっついて 鹿児島も中央駅に行ってましたが

ジャンボ餅 の平田屋と言う何処に行きました！
そんなところが 昔からあるなんて知りませんでした。

吉野にあるみたいですね。私は磯御殿で食べてました。
今度 チャンスがあったら…美子ちゃん 和枝ちゃん…瑞代ちゃんも行ったがるかもね！ 食べに行きましょうね。
その次の車🚗は 黒酢が有名と言って 桜島に渡り
福山まで行って 黒酢酢豚でしたが どういう訳か
酢豚は普通の酢の方が好みます だから行く気はありませんでしたのよ m(_ _)m
鶴田さんの話しは 16 日まだ1週間ありますよね。このメールも 見てくださるっし
ょうから 宜しく🍡

OLINE から2組の川原正道君の訃報が入りました。

衷心よりお悔やみ申し上げます



○下池コメント

〇〇君は今年2月8日に逝去されたそうです。娘さんはカールを

伴った叢なす漆黒の髪に彼の面影を強く残し、おー〇〇元気じゃったか、と言ってしまいそう。両親が逝って一人暮らしになったそうで、イイ人をぜひ肝入ってください。

生まれつきの身体ハンディを背負い、苦難の道を辿りながらも82の年月を懸命に全うした彼、賞賛の拍手を送りたい。ほんのこておやっとさあじゃったねー。今度だダッな人生い生まれっくれ。

川原君逝去の原因は脳梗塞を引金に人生終末期の諸症状だったとのことでした。両親を亡くし独り身の娘さんの身を固めて差し上げるのが同期生の最高のはなむけでは？

誰いか良か人はおいやはんか？

安倍元総理は、ロシアによる2014年のクリミア併合に対する、欧米の厳しい経済制裁に加わらず、ひたすらプーチンに



媚びて、巨額のカネを貢いだ。

ウラジーミル！君と僕は、同じ未来を見ている！

ゴールまで、二人の力で駆けて、駆け、駆け抜けようでは、ありませんか！

という安倍氏の有名な言葉が、どれほど空虚なものであったか。

結局プーチンにだまされて、北方領土返還交渉は、1ミリも進まなかった。

そして今、安倍氏は、ロシアによるウクライナへの侵攻は、断じて許すわけにはいきません。

とツイートし自分がプーチンををを増長させた張本人であるという事実を消し去ろうとしている。
しかし、そんな安倍氏を正面から批判する大手メディアは、ない。--



正しくそのとうりで安倍元総理は現役の総理のときは目立ちたりがりやでやたらとメディアに出ていたけど最近は何処かに雲隠れして全く出て来なくなった。プーチン大統領との友達付き合いは何処かに行ったのか北方領土問題は騙されて無くなってしまいました。 --

○下池コメント



ロシア人は個人の時は底なしに根の優しい人情家だが、公的集団になると獸性丸出しの野獣に豹変するようです。日本人も敗戦時の満州で相当酷い目に遭ったとか。大陸での存亡を懸けた攻防の歴史からくる属性なのでしょう。信頼や道徳は無力、裏切っても、騙しても、勝ったが勝ち。負けたら永遠に消滅。写真はロシア兵捕虜。初期の突撃は囚人や凶悪前科者を投入するのが伝統とか。 --

○善之助コメント



僕の叔父も満洲から敗戦時に民間人であつたにもかかわらずシベリアに連れて行かれて亡くなっています。今回のロシア兵の残酷なやりかたを見ていると下池君の言うとうり野獣になつて独裁者プーチン大統領に騙されて戦っているよつにみえて仕方がない

○大石様のご案内の、名画、ひまわり を、今日、朝の一番で、見てきました。



カツテ、映画に狂っていた頃の記憶が、甦りました。戦争の悲劇は、昔から、愛の物語として、名画が多数ありましたね？

哀愁、カサブランカ、それに、この、ひまわり、と懐かしくも、見ろ度に、胸の裂ける想いを、抱かされます。強く。

なお、上映日は、4月22日までで、12日と19日は、休みで、毎日の上映時刻も日に依って変わります。

電話で確かめて下さい。099-222-8746

雨の日でしたが、朝から、ほぼ満席の盛況でした。反戦と愛を改めて感じた一日でした。

そうだ、戦争の悲劇では、慕情もありますね！？



あの香港での、ジェニファジョーンズと、ウィリアム、ホオルデンの物語、何回も観たものです。若い頃、このジョーンズと、洪水の前の、マニラブラディが、大好きな女優でした。

○4月12日

4月上旬分は「ウクライナ」一色という感じですね。

私はこのような問題については大石くんもわかっているようにいうことの結論は決まっているので、今回は敢えて沈黙を守っています。

松富かおりさんの特別寄稿分？ は分かりやすくよく理解できました。さすがです。

今回、トルコのエルドアン大統領が停戦の問題で動くなどということがあったので「エルダンのトルコ」

の関係部分などを改めて再読しました。



あのときは分からなかったことも再読すると「なるほど」と納得することが多く、勉強になりました。
お元気になられたのでしょうか。
これからの益々のご活躍を期待しています。

隈元達雄

○新名一仁著「島津貴久」は2017年に発刊されていますね。

知りませんでした。

成る程、いい値段ですね。

それと「上井覚兼日記」(2)が出たようです。

まだ買っていません。 隈元達雄

○何れも高いですね。覚兼日記2も家久関係が書かれていないようなので様子見です。

○下池コメント



囚人、捕虜、追放者を搬送する貨車は豚の輸送のように、床にワラを敷きギューギューに人を詰め込んで外から施錠し、トイレはワラに染み込ませ毎朝外に捨てる。死人が出たら引きずり降ろしてそこらにボイ。なにしろ羊も人間も区別がなく何匹単位で数え、人権なんかない。これが国家統治の標準システムなんでしょう。



若いとき見た映画、ドクトルジバゴでもそのシーンやりましたね。

○南郷コメント

下池君動画送ってもらいありがとう。改めて中島さんのシベリア体



験記を読んでロシアがいかに残酷な国が良く分かりました(moon gaunt)僕の叔父もあの極寒の地で栄養失調で亡くなったと聴いています。おそらく今のウクライナでも残酷な行為で民間人が多数ころさ殺されていますが、この戦争は何時まで続く(か)分からない。今のままだとプーチン独裁者は絶対にやめな
いと思う。

○下池アンサー



満州で捕虜になったら、こんな目に遭った、と多くの証言を見聞きしましたね。

<https://www.hotpepper.jp/mesitsu/entry/yasushi-nishimuta/18-00402>

○防衛兵器

南郷コメント

世界は北朝鮮を始め各国でミサイルを始めいろんな武器を開発している中で我が国は憲法で攻撃力のある武器は持てない事になっていますが?防衛のための兵器は持てるけど、その武器さえアメリカに頼って買わされている中で自分の国で開発しているのか分からない。



ウクライナでの戦いを見ているとロシアからの攻撃で街並みはめっちゃくちゃ破壊され防衛するどころか?国民は隣国に避難するか

シェルターに隠れているけど我が国は海に囲まれているので隣国に避難する事は不可能な事だと思う。だからこそ強力な兵器を開発する必要があると思うけど今の所我が国の防衛産業からはそのような兵器の開発を研究しているか残念ながら聞こえてこない?

中国が台湾侵攻をする事は我が国も必ず巻き込まれる事になると思うのでその時アメリカがどんなやり方で台湾や我が国を支援するのか分からないのでその時迄しっかりと備える事が今一番やらなければならない事だと思っています。ウクライナでの戦いは明日の我が国の戦いになるかも知れないので日本人は北朝鮮や中国が何をするか注目しながら備えるべきだと思っています。

○



米国がベトナム戦争で負けた原因は、1960年代末、米国内で反戦運動の盛り上がりがあった。

北爆などの軍事作戦は制限され、兵士には厭戦気分が溢れ、ベトナム帰還兵は、あまり歓迎されなかった。

1990年代の湾岸戦争では、そんなことは忘れ、映画の「ランボー」に憧れ志願者が増えた。最近のアフガニスタンからは、事態好転の見通しが立たず撤退した。

他の国もそうであろうが、国民の多大の犠牲を強いる戦争には、国民の支持が不可欠である。いくら国家間の同盟であれ条約であれ、国益になると国民が支持すれば、戦争が始まり継続される。いざとなったら、国家間の約束は国民の支持しだいであろう。

中国、台湾、日本の戦力を比較してみた。

	戦闘機	艦艇	陸上兵力
中国	約 1,100	約 730 隻	約 97 万人
台湾	約 300	約 250 隻	約 9 万人

国防費前年比増加率は、
中国は6~7%、10年で倍になる。
日本は1%台、2021年度は0.5%。

日本

航空自衛隊

作戦用航空機 約 370 機
うち戦闘機 約 290 機

海上自衛隊

護衛艦 54 隻

(イージス・システム搭載護衛艦) (8 隻)

潜水艦 22 隻

哨戒艦 12 隻

作戦用航空機 約 190 機

隊員

陸上自衛隊 141,443 人

海上自衛隊 43,419 人

航空自衛隊 43,830 人

統合幕僚監部等 3,817 人

合計 232,509 人

2021/03/31 現在

=====
西山 和宏
=====

大石さん



今回のロシア ウクライナ侵攻で 日本の将来について いろいろと考えるべきことが たくさんの課題が提起されることと思いますが、共産党の委員長という立場の人が 憲法九条があるから 日本は攻められるようなことはない と 寝ぼけたような発言あったり、国会議員も 中国寄りの方々もおられ、ノウ天気も方も多数おられます。しっかりと議論をお願いしたいと思います。先般、IR の事業をめぐる、東京地検特捜部が秋元司議員が逮捕されましたが、これは二階派の議員さんで、親中と言いますか

中国とズブズブといったイメージがあります。まず、その派閥にいる秋元さんというところで、まず逮捕、これらは アメリカの圧力があったことは歪めません。

もう一つ、我が国の防衛産業から兵器の開発を研究しているかを残念ながら聞こえてこない？という問題を大石さんが提起されましたが、参考になれば・・・と記します。

先般、話題になりました、日本学術会議は「軍事目的のための科学研究は行わない」という趣旨の声明がだされています。2017年に北朝鮮がバンバン核ミサイル飛ばしたり、半島情勢が非常に不安定でした。そういった時に防衛装備庁などから研究費を受け取ってはならないということ、

日本学術会議側が出しております。おかしくありませんか？

菅官房長官の時に？ 学術会議後任 6人を任命しないというようなことが話題となりました。

しかしながら、中国は、「軍民融合」の政策をとっており、それに伴い

日本も安倍政権の時に、安全保障と一体となった経済政策を推進する会議「統合イノベーション戦略推進会議」というものが、2018年から司令塔になるということで発足している。

学術会議の日中科学技術交流協会は、中国の原子力発電の技術発展に協力すると明記されているようです。日本原子力協会というのがまたあって、それは1985年に、中国と日本、両政府は「国際協力を通じて核不拡散体制への理解を

働きかける」「平和利用分野における協力」を掲げ日中原子力協定というのを結んでいます。すぐにははじまっていないで、1994年から今に至るまで、核エネルギー、核分裂、核融合で研究協力というのをしているわけです。確かに平和利用というのは、中国ではなんでも平和利用と言うのですが、ただ、それはデュアルユースでやっていくと、軍民でやっていくんだということを習近平が言った後でも、交流している事実がある。

日本では、研究できないが、日中共同研究ということで、軍用化されているものがたくさんあるような気がします。もう、遅すぎ、後の祭り。

この国とまともには、勝負できません。中国は何でもありの国、人柄です。日本もこれから、どうして行ったらよいのでしょうか！（震えがきそうです。あまり 真剣に考えないことにします。ケセラセラ…）

木場 祥雄

○4月14日 午後10時49分



木場さんが詳しく書いているので予想はしてましたが防衛兵器を何処まで研究しているのか全く分かっていません。

アメリカから色々な武器を買わされているけど、自国で武器の研究開発の議論を政治家が議論しているのを
善ちゃん 残念ながら聞こえてきませんか？

こんな事では台湾有事の際は日本も必ず巻き込まれる事は分かっているはずですよ？

逃げる事が出来ないので自分の国を守る

兵器ぐらいは自国で開発してアメリカばかりに頼らずしっかり備えるべきだと思っています。

ONHK スペシャルを観て

南郷善之助

4月18日

国連を始め世界中のメディアやマスコミは連日ウクライナとロシアの戦争の事ばかりを報道してますが？



同じような戦いがミャンマーで行なわれている事が日本のメディアも最近一切報道していません。

ミャンマーの軍隊はロシアと中国から武器の供与を受け自国民や街並みを無差別に殺し難民がインドに60万以上避難している状態で若者は自分たちで作った武器で山に立てこもりゲリラ戦で戦いながら頑張っているけど、

僅かな支援を受けながら戦っているけど世界はウクライナにばかり目が向きミャンマーで今でも激しい抗議活動が行われているにもかかわらず国連も積極的に動こうとしてない。

世界中ではいろんな所で紛争が起きているけど国連の役割はこんな時こそ積極的に動くべきだと思うけど今の国連では何もまとまらず役目を果たす事等出来そうにありませんね。

○大石さん

南郷さん

木場 祥雄 4月18日



私 NHK スペシャル 見ませんでした。

このミャンマー問題は ウクライナ、ロシア侵攻と若干違うように思います。民主化のリーダー、アウンサンスーチー氏のもとで10年前から

民主主義の道を歩んでいたミャンマーで、昨年、2021年2月1日に国会が始まる日に、国軍がクーデター起こし、1年2カ月経過し、治安部隊は多くの市民を拘束するなど弾圧を強め流血の事態を相次いでいます。

このような状況の中、国連がもうちょっと人権問題など関与したら…と思いますが、これも安全保障理事会での非難決議文言が中国やロシアの反対で削除されたといい、強い圧力はかけられていません。日本政府は「西欧諸国の中で唯一、国軍とのパイプを持つのが強み」(外務省幹部)として、米欧と一線を画した対話路線をとっています。ミャンマーが

国際的に孤立すれば中国に接近してしまうという心配もあるため日本独自の制裁には慎重です。英国は別にして、他の欧米諸国は ウクライナ問題で批判、制裁も？余裕ないでしょう。

日本企業433社が進出(2020年12月)日本政府も1,000億円近くの円借款を供与するなど支援続けてきておりません。

日本企業のなかには、キリンホールディングスが現地での合弁解消など撤退する企業も出てくると思われれます。

以上のような次第で、人権問題などを理由に、ミャンマーへの関与に

消極的な欧米諸国、ASEAN での存在感を高めたいが様子見の感じを歪めない日本、一方で、緊密さを強める中国の状況からすると、今後ミャンマー、カンボジア、ラオスほど極端ではないにしても、経済面で中国の影響力の強い国になってしまう可能性は捨てきれないという事でしょう。

今は、日本がウクライナ、ロシア侵攻問題で、あまり、ウクライナに力を入れると ロシアは 日本を非友好国扱いとしての対応、北朝鮮、中国を共同戦線など、こちらの方が 深刻なように気がしてきてなりません。

私は ウクライナ、ロシア侵攻 テレビ放映 あまり 見ないようにしています。ウクライナとロシアの間には 長期間にわたり、お互いに悲劇が繰り返されているように、受け止めています。

Kazu Nishiyama

2022/04/18 23:27 (10 時間前)

To 吉松, 東川, 自分, 下池和彦, 伊藤, 南郷善之助, 古市庄八郎, 堀田昌子, 大山寛, 大畑寛子, 崎元雄厚, 木場祥雄, 木村美子, 本田哲郎, 村上久幸, 柴田英紀, 森永鉄美, 森繁, 永留弘之, 永野和枝, 浜崎隆クン, 海江田勝, 田中ムツ子, 秋山副島律子, 稲森俊英, 竹ノ内望彦, 藤崎宏忠, 阿多睦雄, 隈元達雄

ウクライナのキーフ郊外、ドニエブル川を見下ろす丘の上に、キーウ大公国の時代、



1051 年、壮麗なペチェールシク修道院が建立されました。

この修道院はロシア正教会の傘下にある。

そのためロシアのウクライナ侵攻が始まったとき、この修道院は攻撃されない安全な場所だと思われた。

ところが、この修道院だけでなく、他のロシア正教会傘下の教会も扉を閉ざして、信者や避難民の受け入れを拒否した。

ロシア正教会のトップで、キリルー世は、今回のウクライナ侵攻を支持しているといわれている。

キリルー世は、プーチンの統治を「神による奇跡」と称賛したといわれている。

ウクライナには、2019 年に独立を果たしたウクライナ正教会、



ロシア正教の教えに従いながらバチカンに仕える東方カトリック教会の3つがあるという。

人口が増加しても世界が平和に暮らすために必要な食料は何とかなるそうです。

ところが、人口が世界中に溢れると、宗教による対立やトラブルがやっかいだそうです。

日本では宗教が問題になることはあまりありませんが、外国では宗教が、いろいろなことを律していることが多いです。

=====

西山 和宏

=====



キリル1世とプーチ

下は加治屋町にある井上良馨誕生の碑

- ○明治の偉人の誕生地、どっちが本当？
海軍元帥・井上良馨の記念碑が二つ
…調べてみると大久保利通の碑も



鹿児島市

2022/04/23



高麗町にある井上良馨誕生地の碑



井上良馨（国立国会図書館所蔵「近代日本人の肖像」から）

「明治の偉人・井上良馨（よしか）の誕生地の碑が鹿児島市内に二つある。どちらが本当？」。こんな疑問が「こちら373」に寄せられた。確認すると、高麗町と加治屋町にそれぞれ「誕生地」「誕生之地」とする碑があった。その横にある鹿児島市の説明看板もまったく同じ。確かに紛らわしい。周辺は西郷隆盛、大久保利通をはじめ、数多くの偉人を輩出した地域。ほかにも検証が必要な碑があることが分かった。

井上良馨（1845～1929年）は薩英戦争に従軍。維新後は海軍士官になり、横須賀や呉の鎮守府司令長官などを歴任し、1911（明治44）年元帥。

高麗町の碑はナポリ通り沿いの個人宅の敷地内にあった。表に「元帥子爵井上良馨誕生地」とあり、裏に「昭和9年建立」と刻まれていた。石は風化し、建立者は分からない。

住民の女性(87)に経緯を尋ねると、戦後間もないころ一帯は田畑で、碑はその一角にあったという。「自宅敷地の奥にあったが、社会科見学の子もたちがよく訪れるため、現在の道路沿いに移設したと聞いている」と教えてくれた。

一方、「誕生之地」の碑は、甲突川を挟んだ加治屋町の鹿児島中央高校隣接地にある。同町内会が68(昭和43)年、明治100年を記念し、井上や村田新八、篠原国幹など約10人の碑を建立。今の碑は96(平成8)年に再建された。



加治屋町は西郷や大山巖、東郷平八郎など偉人を輩出した土地。町内会長の西村光行さん(76)は「居住地など何らかのゆかりがあったので碑を建てたはず」と推測する。

町内会は熱心に偉人顕彰に取り組む。町民館に顕彰会館を併設し、過去には偉人祭を開催。ゆかりの偉人の出身地番や経歴をまとめた冊子も作成している。

維新ふるさと館特別顧問の肥後秀昭さん(73)に聞いた。井上の碑について「誕生地は高麗町が正しい」。さらに別の町で生まれたはずの村田新八や篠原国幹らの誕生碑も加治屋町にあるという。

なぜこのような事態になっているのか。肥後さんは「西郷や大久保利通を輩出し、加治屋町にあった学舎の名簿に井上や村田らの名前が残っている。それを参考にしたのではないか。ただ、誕生地は別なので、今のままでは誤解を生んでしまう」と指摘する。

例えば大久保利通は誕生地(高麗町)と生い立ちの地(加治屋町)と二つがある。肥後さんは「碑の位置や説明についてしっかり検証していくことが望ましい」と話す。

=====
西山 和宏

=====
○西山さん



南日本新聞の早刷りでも入手しましたか。(笑)
今朝の新聞を見て驚きました。

それはともかく、歴史の我田引水の為せる技でしょうか。
史実と違うことをよく調べないで、人に知らせるというのも罪深いことですね。
いえいえ、他人事ではありません。自戒します。 隈元達雄

○いつもはあまり除いていませんが

少し時間があつたので覗いてみたら、たまたま遭遇したということです。



この記事で分かったことは
大久保利通は、甲突川の南の高麗町で誕生し、
目と鼻の先、甲突川の東の鍛冶屋町に移って「甲東」と号した。
甲突川は意識させる境界であった。

=====
西山 和宏

大石コメント メール掲載が今回逆になり申し訳ありません！森永鉄美の自衛隊からの表彰状の思い出

メールの方が上の『どっちが本当！！井上良聲誕生地の碑』の南日本新聞記事より先になります。

NHKスペシャルを見て

森永くんより 4月19日到着

大石様 皆様



いつも配信感謝
です。

せがらしか世の中になってしまって…

争いで儲かっている者がいるから
でしょうね。

権力の場に座ると さらに大きな権
力がほしくなる のでしょう。

戦時中 戦後の苦しい生活を体
験した者 我々八期生が最後の世代かもですね。

我が国を守る最前線に立つのは 自衛隊 もっと彼らの存在を認めるべきではないかと思ひます。

自分 在職中 そんな気持ちで彼らとも接触を保っていました。

自分の職域は森林地帯 森林経営者との接点も多かったです。

対馬で山林調査中 いきなり迷彩カムフラージュした隊員が出てきてびっくりした経験も・・・

添付の書状は対馬駐屯地の記念日に戴いたもの事前通知はなし当日受付に行ったら

リボンが他の人より大きい 席も最前列で なんか変だなと思っていたら名前を呼ばれ この感謝状を渡
された。

TVのビックリ番組みたいな気持ちになったことを覚えています。

鉄美さん! 元気そうですね!



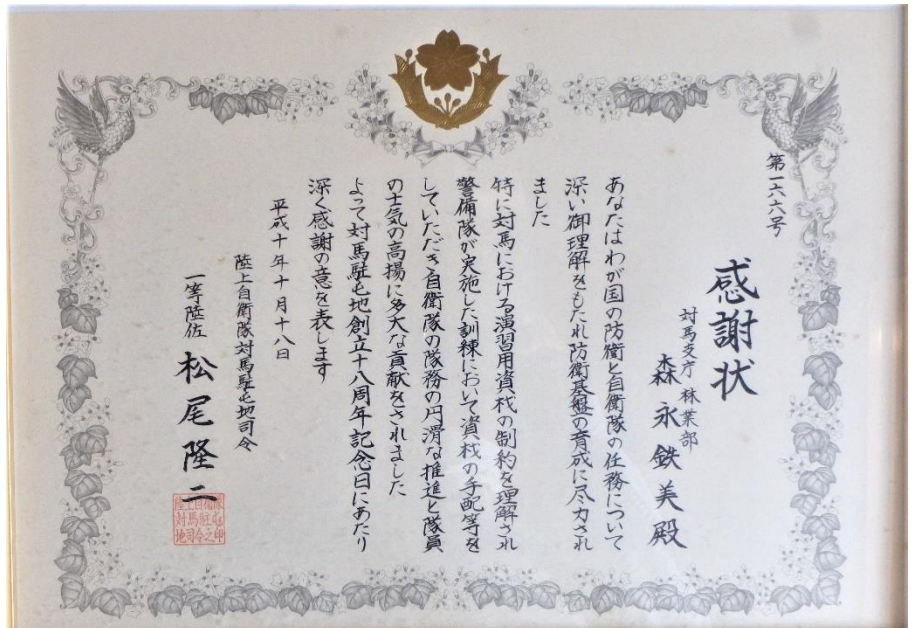
平成10年といえば1998年今から24年前のことです。

50代後半…人生充実の頃の鉄美くんの「戸惑いのなかに誇らしげな」顔が🤔浮かびます。

以下同文の☆☆褒賞(国の)などとは違う特別な感謝状は自分の過去のひとときを振り返る時、得難
い印(標)になることだと思います。

いい感謝状を載せてくれました♪

ありがとう😊



森永さん

本当に素晴らしい感謝状ですね！



感謝している方々から贈られた感謝状
贈る人々と贈られる人がハッキリしている感謝状
いずれも立派だと思います。

人が人に対して敬意を払う

職種に関係なく、人が人に対して敬意を払う

組織内でも上下に関係がなく、人が人に対して敬意を払う

組織の大きさや組織内の役職によって、人の遇し方が異なるのは
明治維新が目指した市民平等にすら反しています。

高級公務員などが、上司に仕えるというような表現が
なされることがありますが、上に対して卑下し、下
に対して尊大になることになります。

自衛隊で、文官（政治家）統制が原則ではあるが
いざとなったら、生命をかけて戦う制服組に対して普
段から敬意を払うべきでしょう。



3月27日、防衛大学の卒業式に出席し、祝辞を纏々述べ最後に

「事に臨んでは危険を顧(かえり)みず、身をもって責務の完遂に努め、もって国民の負託に応える」
今一度、この宣誓を胸に刻み、皆さん一人一人が、
国民の命と平和な暮らしを担う砦(とりで)であるという強い自覚を、決して忘れないください。
そして、国民の信頼と期待に常に応える自衛隊であり続けるよう、
崇高な任務に皆さんが全力で当たることを期待して、私の訓示とします。」

と結んだ。

卒業式で祝辞かと思ったら、訓示でした。

この訓示を述べるために官邸からヘリコプターで片
道10分足らずで

午前中に横須賀の防大を往復し、午後、銀座の高級理
髪店に行ってサッパリしました。

「首相官邸」で、このスケジュールを見たびっくりし
ました。

「崇高な任務に皆さんが全力で当たることを期待」しておいてから、
散髪に行くとは.....



=====
西山 和宏
=====

○4月24日



しばらくぶりです！！ 本田です！！

みうなさんが、ウクライナ侵攻、ミャンマーや、LINEトークでは、マリアさん御一家の日本への避難について、尊い暖かな支援や御意見を提議されているところに、自分の身の事など書きまして、恐縮しながら、書いています。

実は昨年来、糖尿病からの腎不全現象となり、人工透析(一日おきに、医療機関で、全身の血液を濾過することで、生命を維持する療法)に入ることに同意して、昨年3月に入院した上でのシャント処理【透析治療を可能ならしめるための、利き手でない左腕手首の動脈と静脈を接続する手術】も完了して、いつでもこの人工透析療法に入る準備は整えていました。

透析になると、泊りがけの「旅」は不可能になるとの事で、去年は、コロナ禍ではあるが、「県内ならOK」との事で、屋久島、奄美大島・加計呂麻島、それに八期会の歴史愛好家の皆様との甑島など、立て続けに「島巡り」の旅をこなしてきました。

これも昨年来ではありますが、阪急交通社企画による年配者の参加を主眼とする「フルムーンの旅」(夫婦での参加が条件)も計画されていましたが、コロナ禍で、県外の各地への「旅」は無期延期となっていました。

今年に入って、一時、コロナ禍が収まった気配が感じられることで、この企画が再開されて、すぐ応募した次第です。

今月19日から、昨日の23日までの5日間、阪急とJRとの提携とも言える鉄道(新幹線、在来線特急など)や船便などを利用して日程的にも、あまりアチコチ忙しくバスハイクなどもひかえる「年寄り向けの旅」企画でした。

これについて、旅先からラインで2度ほど、途中経過を書き込みましたが、どういう訳かわかりませんが、「送信」がうまく作動しませんでした。そこで、その「旅」を終了して、無事、帰宅できましたので、御参考までに書き込みました。

19日に鹿児島中央駅から一路、新大阪駅まで「さくら号」で行き、さらに名古屋まで乗り換えて、通常の参加者は「伊勢神宮参拝」でしたが、自分は在京の頃何度もそこへは足を運んでいましたし、今はあの長い砂利道を歩くことも負荷であることで、ちょうど名古屋筋近辺には、小中学時代の幼な友達も多数居ることで、彼らに打診したら、名古屋駅周辺で会うことになりました。



3人の旧友が来てくれて、3時間ほど歓談できました。その後、当夜の宿泊地の「鳥羽のホテル」へ直行して一行に合流しました。

翌日は、東海道新幹線、東北新幹線(両方とのグリーン席利用)で函館まで行きました。

途中、大学時代からの友人が青森県五戸市に在住していることで、先年、やはり夫婦で個人旅行した時、彼が秋の紅葉の十和田湖周辺などを案内してくれていましたが、約5年ぶりに途中の八戸駅ホームでも「一目だけでも！」との願望で、小生から要請しましたところ、彼の方からの提案で、「自分もその列車に乗って、新青森駅【所要時間約30分】まで、新幹線の中で会いましょう」という事で、当日、彼は近くの「八戸駅」で乗車してくれて、新青森駅まで、彼と久しぶりに、短い時間でしたが、空いた席があり、そこで、積もる「話」もできました。

このように、「ツアー旅行」中でしたが、添乗員の許可をもらい、親しい友人などと会える機会も採れて、彼らと久しぶりに会えたこと、嬉しい事でした。

北海道では、函館の例の「トンボリ」の本拠である函館山からの市内への見事な夜景などが楽しめました。

標高333メートルの函館山展望台までバスで登りましたが、甕島で、大石、隈元、森さん達と苦勞して探した「トンボリ」も、ここでは簡単にバスで連れられてもらい、簡単に見学することができました。ただ、北国だけに、風もあり、凄く寒い夜でした。

北海道は、在京の頃から、何度も夏冬とも、道南、道東、オホーツク海方面なども訪れていますので、今回は、函館、札幌、小樽だけでしたが、函館のトンボリの夜景と翌朝の朝市で、好きな生きている「毛がに」をゲットできたのは、収穫でした。

翌日は、小樽港から新潟港までの新日本カーフェリー船(1万5千トン)で一泊泊まりの船便【個室利用】での船旅でした。

日本海は荒れているようでしたが、船の「ユレ」は多少は感じますが、「船酔い」などは、夫婦とも感じませんでした。快適な「船旅」でした。

その後は、やはり新幹線などを乗り継ぎ、能登半島の和倉温泉へ向かい、格式のある旅館で、部屋の洋式の広い部屋であり、10階の高所の窓から眺められる七尾湾の眺めも最高でした。

年寄り向けの料理もおいしくいただき、帰宅して体重計に乗ったら、太っていました。これからが大変です。

翌朝の宿の出発時刻も余裕がありましたので、かねて七尾地区の戦国武将畠山一族の山城址があることは、事前に調べていたので、郷土史に狂っている自分としては、その時、個人夫「小さな旅」として、地元のタクシーの予約して、2時間ほどの史蹟見学を敢行しました。



七尾湾を見下ろす山城址公園(標高)300m以上とか)から、日蓮・浄土・漕洞宗など狭い門前町に16か所も「お寺群」があることには、ビックリでした。さらに、あそこは加賀100万石の前田利家一族の地であり、現地にはNHK大河ドラマで話題となった「マツ夫人の史蹟」などもあり、収穫の多い、「小さな旅」となりました。



さらに、ここ地元の古参の運転手であり、「地元のうまいモノはありませんか？」との問いに、すぐに反応されて、自分が毎年の正月料理として母から受け継いでいる、「昆布巻き」の専門店があるとの事で、そこへも寄っていただき、芯はニシンに限らず、寒ブリやカンパチなどを使った「昆布巻き」もゲットできました。

このように、5日間ではありましたが、変化にとんだ「旅」であり、あまり周り過ぎることもなく、朝などもゆっくりの「出発」であり、自分なりに、有効な時間の活用などが可能な「ツアー」でしたので、歩行がままならない自分でも、添乗員泣かせの「単独行」もできました。10組20名の参加の「ツアー」でしたが、このように、空いた時間や自分なりに「コース」を離脱しながら、友人とも会えこともできました。

透析前のおそらく、最後の最後の「旅」になるでしょうが、思い出多い、何時までも心に残る「春本番の旅」になる事でしょう。

2022年4月24日(日) 2:15 本田哲郎 <tnhonda8@gmail.com>:



本田さん

長距離の旅を健やかに過ごされて何よりでした。
まだまだ、長い旅は続きます。頑張りましょう。

=====西山 和宏

本田さん!



よかったですネ!

4月24日

旅中でのプライベート『小さな旅』何よりの思い出になることでしょう。

二度計画した本田さんとの『連れ旅』のひとつ『世界遺産登録、奄美大島2泊3日』は直前での催行中止になり、何とか『甌島マイカープラン』だけは実現出来ましたネ。

今となれば本当に、行って良かった思い出の旅になりました。

「旅は行く何日も前から始まっている」本田さんの持論に大賛成です。

自分を振り返ると、どちらかといえば数年に及ぶ中国🇨🇳での『ひとりぶらり旅』で事前予習に徹し初めての訪問地（再訪の）懐かしさを感じながら大陸を列車で回った…想いが溢れてきます。

その後の、高校仲間たち（八期）との旅の企画も、勿論、同じ思いの数人の企画メンバーと共にですが、振り返って見たら、おびたしい（ちょっと大袈裟かも）回数『思い出旅』を繰り返してきました。そして思うにつけ、旅は催行が決定した時点でもう始まっている…

特にプライベートな小さな旅はそう言う仲間同士で行くのがいちばん…そう思います。

甌島マイカー旅も、道中いろいろありましたけど、あったからこそ😊思い出になった…

本田さんの旅の日記を見ながらフト甌島の4人旅の本田さんを思い出しました。

大石ケイジの中国スケッチ①新疆ウイグル編

4月26日

およそ20年間(1年間の長沙市日本語教師を含め)の中国ぶらり旅を約50回くらいに分けて訪問した都市(田舎も)毎に、アルバムとして作ってみます。



その第1号作品です。今から20年昔になってしまいました。最初の数年は兄や2, 3名の中国好きとの仲間旅で、旅行社を使っての少人数ツアーでした。

デジカメもムービーも出た初めて画素数も少なく、画像が今ほど鮮明ではないのでご容赦を。尚、3年ほど、一緒に旅した松間和尚はすでに若くして他界してしまいました。

目で見ると大石ケイジの中国スケッチ(旅日記)総集編の製作を開始します。

動画リンク

<https://youtu.be/NRtFGrRvTdQ>

大石ケイジの中国スケッチ①新疆ウイグル(シルクロード)をアップしました。

○ユーチューブ動画説明でも書いた通り、これから60回くらいの予定で中国での（旅を含めた）記録を思い出集としてユーチューブ動画にアップしていきたいと思います。

いくら探しても出てこない写真や動画もあって苦勞の連続です。

もう20年になります。この作品以前に海外と言え、フランスパリでの美容研修や1976年にはアメリカ独立記念200年にニューヨークを始め2週間北米を回りました。

ジャワ（バリ島）シンガポール・タイ（プーケット）なども旅しましたが記録は余りありません。

でも、中国だけはHPにもしっかり記録を残しました。



今回の『中国スケッチ』シリーズも、まあ自分の為というか？「わが人生の」一区切りとしてのものといえますか。

YouTube 動画 大石ケイジの中国スケッチ①新疆（シルクロード）をプレビュー



月の砂漠、ラクダは楽だ

これから60回 ゆるりと中国の風景を楽しませていただきます。

コロナはなし、戦争騒ぎもなし 平和な時代の漫遊でしたね
加えて、友好度は高かったでしょう。

=====
西山 和宏
=====

○大石さん



中国スケッチ総集編 新疆(シルクロード) 非常に興味深く見ました。

未だ、61歳 若い時に 思い切った旅行を経験されたようですね!

私も シルクロードに行きたいと願望を抱きつつ 終ってしまいました。

良く、整理されて シルクロード旅行したいという、気持ちを掻き立てるに十分な記録でした。

前後して、私も 江蘇省南通市の独資の裏地、表地製織・染色会社へ

2年半 出向していました。中国は広いので、ほんの少ししか見物していませんが、西安 兵馬俑、桂林、黄山、蘇州、杭州(大逆流など)、南京などちょこちょこ見物しましたが、広大なシルクロードにはいかずじまいでした。今、シルクロード紀行～夢とロマンの旅～のビデオテープ

60巻を中古で購入し、ボチボチ見えています。

よろしいですね。

中国旅日記 シルクロード編 メールしていただき、ありがとうございました。

木場 祥雄

追伸 中国 進出企業の経営も 非常に厳しい状況になっていくように思われます。





共産党から 進出企業に 書記？が派遣され 総経理より 上になり、
経営に口出しすることになるらしいと噂されています。
中国では 市町村では 市長、町長、村長には、共産党より書記が上に
位置し、先に 書記に 双方に 挨拶していました。

進出企業にも 同じことを考えているようです。まあ、企業経営、人事面も 日本側が思うようにできなくなるのではない
かと思われます。

土地は 外国企業は 買えませんので 60年の借地権で 中国サイドより、無理な案件を突き付けられ、同意できぬよう
な事態に至った時には撤退しようにもできないといった状況に至るかもしれません。

そのまま、従業員の退職金も払わねば、簡単に引き上げることも出来ないような事態になるかもしれないといった最悪の
事態が予想されます。

○木場さん 大石さん

人生は思い出作りと思案が楽しいものだと思います



先日は y o uは何しに日本へを観ていたら
アメリカから来た y o uが、何かを始めるのに遅いということはない
と言っていた言葉が印象的でした。

10年ほど瀋陽で、ガイドに聞いた話では
偉い人は、ゆっくり入社して、新聞を読みながら
お茶を飲むと言っていました。

働く姿勢を正さない限り、国は発展しないでしょう
日本も偉い人の仕事に取り組む姿勢が
今日の停滞を招いていると思います。

それでも日本を知る中国人は日本の国振りに
憧れていると思います。

=====

西山 和宏

=====

○小市民として現地にいると中国は何も怖いことはありませんでした。ひとりでどんな現地人が利用するホテル(招待所
にも)泊まりましたがヤバいと感じた事はありませんでした。



でも日本にいて中国を思うと、何やら用心しないと当局(何もしてないのに疑われそうで)にビクビク、自由
のない窮屈な国に見えます。

5. 6年前に娘婿の会社が上海と大連に流通業(生活用品雑貨卸)の現地法人会社を設立しました。
担当社長はぼくの推した留学生の優秀な人でしたが、現地採用の数名の社員とトラブルになって法的な処置(労働法の
違い)でぼくまで何度も上海に行き処理に大変な思いをしました。

だから、木場さんと話したら何時間話が続くか分かりません。つまりところ中国人の悪口で終わりそうです。

こうして文章で書きはじめても長くなりそうで語りたいことの半分にもなってないのでやめます。

まあ、利害を離れた中国は、日本も同じく、民はいいですね。一度会ったら親友です。三度会ったら義兄弟...今でも何人の義兄弟や愛人がいます。 話の続きは会った時のお楽しみに...

○大石さん



西山さん

その土地、お国の方々と会って、お付き合いしてみないと分からないこと

多々あります。どの程度 許容できるか...ということも個人差があると思いますが...

もう、残りの人生 長くない 私共は あまりシャカリキにならない様

戒めながら 余生を 楽しく 過ごしていきたいと思えます。

テレビも 古代編 歴史ものは 良いですが 現代 今 起こっている

出来事は できるだけ見ないように しています。

世間に 疎くなっても 多少は... 認知症にならぬよう...

ボケ防止に 古代もの、紀行物などを見るようにします。では 又！

木場 祥雄

○子供が出かけるとき 母親が注意します

C 1 0 : 1 5 国 : 他人をだましても騙されるなよ



K 国 : 他人に騙されるなよ

日本 : 他人様に迷惑をかけないように



それぞれの国でそれが当たり前だと思われているのでしょう。

馬には乗ってみよ、人には添うてみよ

でも、添うても分からないことはあるものです。

○日本人の大学教員と結婚した上海出身の女性が

上海で起業した会社の経営を親友に任せていたら

胡麻化されたと怒っていました。

上海出身の女性は、夜の集まりに来る前に

夫のためにカレーライスを作って置いてきたと言っていました。

考えも食生活も かなり日本人化したかと思いました。

=====

西山 和宏

=====

○クマタツおじいさんは寝るのが早く、また今日は朝からグラウンドゴルフを4ゲー



ムやってきたので、大石くんのシルクロードの旅をやっと見ることができました。

今日の景色や風俗は一言で言えば、やはり違う世界ですね。

最近、中国の街中の動画を何編か youtube で見ましたが、特に新興都市のビル群や女性のファッションが日本より凄いなあとって驚きながら見えています。



もちろん、今日の大石くんの投稿 youtube のシルクロード他は20年二昔とはいっても、現在も大きく変わってはいないのだらうと思えます。じかいからも楽しみに見たいと思えます。 隈元達雄

○大石様

中国スケッチ、拝見しました！！



20年前の「動画」とは、素晴らしい！！
過って、それも昔々、NHKの特集で、喜多郎のあの
独特のメロディで、いつも流れて
シルクロードをつぶさに映像化していた番組は、毎
回必ず見ていたものでした。

貴兄は20年前ですが、その頃だって「動画」に収めておられた
のですね？！



自分は、中国は以前も書きましたように、東北【北満地域】の大連【工業地帯や230高地など】や北京・天津などと、広
州、蘇州、上海などの南部地方には訪れたことはありますが、崑崙やトルファンなど、「シルクロードの道」は「あこがれ」
で終わるようです。

息子には、大学時代、親の私も進めて、リックサック姿で、20日間、単独で、歩きました。あのシルクロードは、また西
洋と東洋を結んだ、貴重な「架け橋」であったのですね？！

自分も、生まれ故郷の台湾には、自分なりに「郷愁」を感じてますが、今は、何もできません

貴兄が生涯の「メモリアル」としての「中国」、今も留学生など支援されている姿勢、実に貴重で、素晴らしい！！ 今
後のアルバムを期待します！！

○みなさんからのエールに感謝！！



限りなく多くなった写真や動画の数々を何年かに一度 HDD に移行保存する作業に悩まされて来ました。
そのうち『マイ YouTube』 UP でも、まとめてきましたが、YouTube UP はどうしても動画が中心になりアルバ
ム帳はフォルダごとパソコンまとめになっています。

長い時間の中で「アレはいったいどのの中に？」

自分でまとめておきながらその場所が分からない？かと思えば、つい、フォルダごとコピーしてタイトルだけ(特に年度を)
新しくする。

全く同じ双子が誕生したり。

よし、YouTube にアルバムを載せよう…そう思ったら、構成、収集…その他いろいろ、空想作家の悪い癖に悩まされ
始めました。

せっかく撮ってきた写真をホームページにあげるために縮小したり、ムービーで撮った写真は元々小さくて YouTube ア
ルバムだとボケてしまったり、と悩みばかりですよ。

まあ楽しみながら頑張ってみます。過去を懐かしみながら…大石 2022.4.28



○4月26日 木場発大石さん

いつも情報送っていただきありがとうございます。

本日の NHKBS プレミアム 18:10よりという事がわかりましたので 見ることにします。

鹿児島島のコロナ感染 なかなか 減っていないですね！



よろしく 木場 祥雄

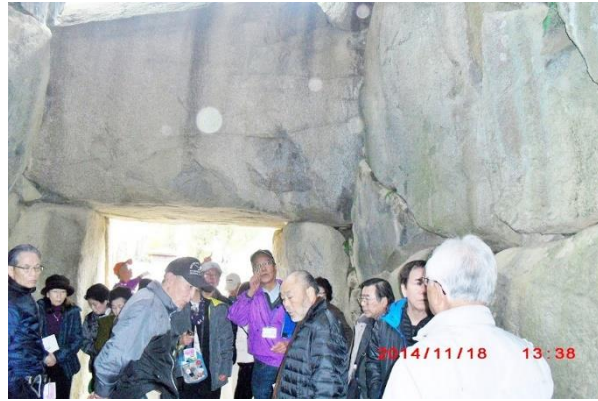
○私も「飛鳥石舞台」はあの日のことを思い出して、すぐに録画予約をしました。

どういう風に描かれるのか楽しみです。

隈元達雄



〇ここですね。あれから8年たちました。 森繁 提供



〇大石さん
隈元さん
森さん

「飛鳥石舞台検証」放映見ましたが 再現については クレーンなど機械器具を使っていましたが、当初、この石舞台が石をどこかどのようにして運び、どのように組み立てられたか？という事は 今とは違って いた…と思います。この放映からは 出来上がったというだけで、昔、どのようにして、運び、組み立て方はわかって、77トンも大きな石、39個の石を運んできたか、牛馬が使われたのでしょうか、石をどのように加工したか…など 想像でなきないままに見終わった感じがします。

まあ、7世紀、蘇我馬子の墓ともいわれ、すごい建造物だと思います。

森さんの 写真も懐かしく 見ました。

木場 祥雄

追伸 関口 宏の新古代シリーズも 録画して 見ております。

〇みなさんの真面目な返信にいつも感心させられています。ありがとうございます！



もう20年前の自分で、八期旅などで皆さんと一緒にする前で、60になり、生業の美容師生活も一段落したい時でした。

どこでも、何でもひとりでやりたい時に、やれた事を…『幸せだなあ！』加山雄三の歌のセリフ通りだったのかも知れません。

やがて、台湾での古希旅行や沖縄八重山旅行などを経て国内とりわけ関西の大和の歴史を訪ねる八期旅行に繋がれたのは何と言っても木場祥雄さんを始め旅の計画と一緒に頑張ってくれた仲間に恵まれたからでした。

コロナ禍という難物に見舞われてしまいこの3年ストップしてしまいました。

齢もとり、足元も弱くなってしまいました。

でも、チャンスあれば今一度、チャレンジしたいものです。

〇Gメールの仲間の皆さんのトークを毎日楽しみにみってます



大石君のシルクロードの旅日記や動画等これから色々な楽しい思い出の動画が出て来るのを期待しながら 観ようと思っています。

木場君が中国の事で色々な事を言っていますが、僕も色々な面で少し心配しています。

あの大国な中国 14億人を一億人足らずの共産党員が抑えている中で色々な民族が入れ混じって複雑な環境の中今の共産党が押さえ込んでいる状態我々にとっては異常としか見えません。

コロナ禍でも少しの感染者がでただけでも独裁者しか出来ない様なロックダウンをする等国民の意見等無視日本人には考えられない様な事が起こっています。

これが独裁者の共通点かもしれません。こんな事を書き出すときりがないので木場君の言うとうりこの先残りの人生長くはないのであまりシャカリキにならない様に余生を楽しみながら生きて行きたいと思いつつも気が付けばテレビやネットにかじり付いている自分がいます。すっかりスマホアプリやネットの社会にどっぷりハマっているかもしれません。

先日文藝春秋を読んでいたらその中で中国は昔から平気で嘘をつく民族だと言う事が書いてあるのを読みながら思い出したので少し書いてみます。

北京に行ったとき観光バスで天安門広場に行く途中現地ツアーのガイドか皆さん中国はスリが多いので十分気をつけ下さいと言われましたが中の一人がスリに取られてガイドに話した所逆にガイドから散々怒られ財布をとられた貴方が悪いと言われ取ったスリはあれが仕事だから全然悪く無いと言われ、なるほど國が違えば考えも変わるのだなと思いつきました。

中国人に嘘をつかれて腹は立ちませんかとたずねたら彼等は嘘に腹をたてる中国人は一人もいません。それは最初から相手が嘘をついているとお互いに思っているからです

私は親から嘘をついてはいけないと言われた事は一度もありませんが騙されてはいけませんと良く言われました。

日本人は子供の頃から嘘つきは泥棒のはじまりと良く言われた者です。

○南郷さん

中国のこと よく ご存じで まったく 同感です。



だまかされる人が悪い 人を信用する人が悪い 親兄弟も 信用しないぐらい。頼れるのは お金だけです。

中国 国自体が 条約、約束を 守らない、恩義を感じない 国柄です。

日本は 天皇制を中心に、2千6百81年続いてきています。長い歴史があります。

木場 祥雄

○善ちゃん 勉強していますね



スリはそれが仕事だから、すって当たり前 掏られるお前さんが悪い、または間抜け。

その理屈でいけば、尖閣も攻め盗るのは軍人の役目 盗られないように、しっかり守っていないお前さんが悪いという理屈。

中国を「重大な脅威」と名指しすることによって 日中間の緊張を自ら高めていることに気付くべきだと 中国の識者は指摘している。

安全であろうという想定や願望もあろうが

安全でなくなったときへの備えも必要であろう。
グローバル化とはグローバルな常識を学び採り入れることであろう
今やニューノーマルの時代でもある

日本は専守防衛を国是にする国です。
戦争する時には、日本本土が戦場になるという国です。
親鸞聖人 曰く
明日ありと思う心の仇桜 夜半に嵐の吹かぬものかわ

=====

西山 和宏

=====

OG メールを読んでいる皆さん僕の拙い文章を読んでもらいありがとうございます。



皆さんの素晴らしい文書を毎日みっていますが
僕にはとても真似が出来ないので読むだけでしたが大石先生から下手でも良いので何か思っている事を書
いてみたらと言われて迷っていたけど恥を覚悟で書く決心をしました。

書いて読んでみたら矢張り自分が思っている気持ちの半分も書けなくてガツカリしています。でも乗りかかった船なので
大石先生のアドバイスを受けながら頑張ってみようと思っています
80歳の手習いと思いボケ防止のため色々な事にチャレンジしてみたいです。

○南郷善ちゃん

その心意気や良しだと思います。



文章も内容もいつも素晴らしいではないですか。そう思いながら読ませてもらっていますよ。

私も大石先生の「Kくん基地」に習って、少しでも来し方をこの辺りで書き残して置こうと思って
ブログに「Tくんの物語」というカテゴリを作って昨日、2回目を書いたところです。

私もボケ防止も大きな目的の一つです。

お互いがんばりましょう。

隈元達雄

○こんばんは！大石編集長デス！！

今の時間は2022年4月29日午前0時。



あと1日の余裕をもって今回も『八期オンライン通信』4月号を閉じようと思います。

さて、今月を振り返ってみると「ロシアによるウクライナ侵攻」という、歴史的にも後世に残るであろう大きな出来事が突発しました。

八期オンライン通信もこの事件から始まっています。

巻頭文も浜崎隆会長にとってもいい記事をもらいました。

青い空と黄色いひまわりの花・・・当事国ウクライナの国家の色です。多くの八期仲間が
あの名画「ひまわり」の再放映を映画館やテレビの有料版（YouTube 動画）で観られた
ことでしょう。そして、美しいテーマソング（BGM）のなかのラストシーンに胸を締め
付けられた人も・・・



編集人・大石の留学生との交流のひとりにウクライナの学生・marria さんがいました。すてきなウクライナ美人で当時22才あれから11年が過ぎました。

メッセージャー（SNS）で連絡が取れました。東のハリコフ（第二の都市）に住んでいました。

鹿児島への避難を勧める交信を続けました。やさしい八期仲間たちのエールも送りました。

東から西への避難ルートが危険だとのこと躊躇しています。その交信の記録を今月（4月号）の最後にいくつか紹介します。

